

# 投稿規定

2010年7月15日作成、2023年12月9日第5回改訂  
公益社団法人日本技術士会中国本部 広報委員会

内容	技術論文・技術解説・随筆・意見・近況報告等なんでも可。ただし、技術士法及び技術士倫理綱領を遵守した内容とし、日本技術士会及び会員の名誉を傷つけたり、誹謗中傷したりする内容ではないこと、著しく偏った見解や個人の主張など誤解を招く恐れのある内容ではないこと。						
著者構成	著者（連名の場合は1名以上）は本会の正会員又は準会員であることとします。表題に続けて執筆者の所属・役職等の属性を書き、顔写真を貼り、本文に入る。属性は下記を標準とします。なお、 <u>所属、氏名等は右詰めで記載</u> する。 <table border="0" style="width: 100%;"><tr><td style="text-align: center;"><b>【会員として執筆の場合】</b></td><td style="text-align: center;"><b>【委員会役員として執筆の場合】</b></td><td style="text-align: center;"><b>【部会役員として執筆の場合】</b></td></tr><tr><td style="text-align: center;">□□県 ○○部門 □□ □□ abcコンサルティング（株） （※右詰め）</td><td style="text-align: center;">△□委員会 委員 □□ □□ （○○部門） （※右詰め）</td><td style="text-align: center;">機械/船舶・海洋/航空・宇宙部会 部会長 □□ □□ （※右詰め）</td></tr></table>	<b>【会員として執筆の場合】</b>	<b>【委員会役員として執筆の場合】</b>	<b>【部会役員として執筆の場合】</b>	□□県 ○○部門 □□ □□ abcコンサルティング（株） （※右詰め）	△□委員会 委員 □□ □□ （○○部門） （※右詰め）	機械/船舶・海洋/航空・宇宙部会 部会長 □□ □□ （※右詰め）
<b>【会員として執筆の場合】</b>	<b>【委員会役員として執筆の場合】</b>	<b>【部会役員として執筆の場合】</b>					
□□県 ○○部門 □□ □□ abcコンサルティング（株） （※右詰め）	△□委員会 委員 □□ □□ （○○部門） （※右詰め）	機械/船舶・海洋/航空・宇宙部会 部会長 □□ □□ （※右詰め）					
原稿	原稿は Microsoft・Office の Word 形式とし、 <u>図や写真を使用する場合は、Word の画像圧縮機能等</u> でファイルサイズの削減に努める。						
レイアウト	用紙は A4 縦、段組みは 2 段書き、20 字×40 行とします。 <u>1 行の文字数、行間隔は変更しないこと。</u>						
余白	上下 25mm、左右 30mmの余白を置く。（両面印刷のために左右に余白をとる。下部にはページ番号を打つために余白をとる。原稿にはページ番号を打たない。）						
字体	<u>表題・小見出しは MSP ゴシック、本文は MS 明朝とする。※字体の変更は不可。</u> <u>英数字は半角、カタカナは全角とする。</u> なお、章番号のみ全角とする。※節・項は半角						
字の大きさ	表題は 16 ポイント、その他は 10.5 ポイントとする。 （このページの表題「投稿規程」が 16 ポイント、その他は 10.5 ポイントである。）						
文体	原則として、「である調」とし、文末の「以上」は省略する。						
句読点	「。」「、」を使用し、「.」「,」は使用しない。						
ページ数	技術論文及び技術解説は 4～6 ページ、随筆及び講演要旨は 1 ページ、委員会及び部会・研究会・支部からの報告は 1 ページ、各県からの報告は 2 ページ、 <u>その他会員からの投稿は 6 ページ以内とする。</u>						
図表	図表の中の字の大きさを、原則として 9～10 ポイント程度とし、図、表のタイトルは、 <u>図-1、表-1、写真-1</u> と表記する。字体は MSP ゴシック 8～9 ポイントとする。						
写真	パソコンのソフトで適宜貼り付ける。						
仕上がり	<u>製本は白黒印刷となる。（※図表、写真は白黒印刷での見映えも勘案して作成する）</u>						
著作権	文中に引用する図表等に著作権許諾等を要する場合や、学会誌等に掲載された論文を再投稿する場合、執筆者は責任を持って著作権者等の承諾を得て投稿すること。						
原稿の送付	メールに添付して事務局宛送信する。容量が大きくメール送信できない場合は、CD 等に記録し事務局宛郵送する。プリントした原稿は受け付けない。						
校正	<u>記事内容は投稿者の責任とするが、校正時に広報委員会で次の対応を行うことがある。</u> ・原稿の字句に関する軽微な間違いを、文意を変えない範囲で修正すること。 ・投稿規程に沿っていないと判断した場合、投稿者の了解を得ず、編集者が可能な限り修正後掲載すること。修正箇所が多い場合は執筆者に返却する。						
執筆料等	技術論文と著名人インタビューでは、掲載された記事について、技術論文執筆者には執筆料、インタビューの話し手には謝金を支払う（1 記事につき 1 万円）。技術論文で 2 名共著の場合は 5 千円/人、3 名以上の場合も 5 千円/人とする。※金額はすべて税込み						

会報は、公益社団法人日本技術士会中国本部の皆さんからの投稿で構成されています。

皆さんからいただいた原稿は、広報委員に配布され、検討に付されます。その検討結果にもとづいて修正・訂正を加えた後、印刷・製本に回します。

引き続き、皆さんからの積極的な投稿とご支援を賜りますようお願い申し上げます。